

(令和5)年度

学 童 ク ラ ブ 事 業 年 間 活 動 報 告 書

上賀茂児童館

	活動の基本目標（指針）	主 な 取 組 名	成 果 と 課 題
生活援助機能	安全・衛生の確保  健康の管理・情緒の安定  基本的生活習慣の確立  社会生活技術の獲得	机の出し方指導 挨拶の励行  おやつを提供  QRカード入室指導（出欠確認） 衛生管理 手洗い・うがいの励行  集団下校指導  安全週間 夏休みの健康管理・生活習慣づくり 怪我や病気の対応、健康状態の把握  身の周りの整理整頓・掃除 生活班替え・当番活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童館の中で生活するうえで必要な場づくりができるようになった。安全面などには気をつける必要がある。</li> <li>・「ただいま」や「さようなら」、「いただきます」「ごちそうさま」など基本の挨拶の励行。しっかりできる子が増えた。</li> <li>・帰ってきた子からおやつを食べさせるなど、学校からの下校時間を考慮して設定した。</li> <li>・安全衛生管理のもと、季節に合ったおやつを出したり、子ども達に選ばせたりするなど、楽しみをもたせる工夫をした。</li> <li>・連絡なしでの欠席、早帰りは保護者電話連絡を入れて確認を行う。館に来るのが遅い場合は、学校にも確認を取り、状況を把握した。</li> <li>・登館時や外から室内に入ってきた時、昼食・おやつ前など、手洗い・うがいの徹底を図った。おやつ前のアルコール消毒も実施した。</li> <li>・日が短くなる11月から1月末までは、お帰りの会を15分間早める冬時間を実施し、安全に帰れるよう指導した。</li> <li>・下館時の子ども達同士のトラブル等については、速やかに対応し、対象の帰りグループで話し合う。また事案によっては、お帰りの会全体で話し、子ども達同士で気をつけることを話し合う場を設けた。互いに注意し合う態度を促した。引き続き、安全な帰り方を指導、見守っていく。</li> <li>・月に一度安全週間を設定し、安全に下館できるように意識づけをした。</li> <li>・学習時間や休憩時間を実施し、長い夏休み期間の生活リズムを整える。外遊びを短縮・中止し熱中症対策をとった。</li> <li>・怪我や体調不良には迅速に保護者に連絡をとる。静かな部屋で休ませたり、緊急時は病院に連れて行くなどに対応した。</li> <li>・土曜日、学校長期休暇、年末には学童全員で掃除を行い、清潔を保った。</li> <li>・子ども自身が持ち物の管理ができるよう、記名の徹底を行っていた。</li> <li>・生活班活動は今ほはしていないが、3年生が中心となって日々の生活がよくなるように声掛けをしてくれている。</li> </ul>
子ども育成機能	生活体験の拡大   社会性の養成   自立の促進と自主性の尊重	避難訓練 お誕生日会 3年生会議  1年生切り絵指導 3年生会議 2年生会議 ブロックやんちゃにむけての歌練習 みんなあそび 大学生ボランティアサークルとの交流 ブロックやんちゃ  上賀茂神社アートプロジェクト参加 スノードーム作り うちわ工作 クリスマス工作 大掃除 防犯教室 お楽しみ会実行委員会 プラ板作り お楽しみ会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童館の中で災害が起こったときにどのように行動すればよいかについて考え、火災・地震・不審者など、いろんなパターンで訓練することができた。</li> <li>・お帰りの会で、お誕生日の子ども自身が自分の好きなものクイズを出して、その子を知る機会、楽しく過ごす時間となった。</li> <li>・学童クラブの中心学年としての役割を回を重ねるごとに自覚し、自分たちで、話し合い、発言し、意見をまとめる経験をする。毎月の目標を考え、学童クラブ全体に共有した。</li> <li>・早い時期から1年生に Cutter 指導を行い、切り絵週間や希望者には土曜日に集中して取り組むことで、展示発表に向けて、意欲を持って作品作りに取り組んだ。</li> <li>・学童クラブの中心学年としての役割を回を重ねるごとに自覚し、自分たちで、話し合い、発言し、意見をまとめる経験をする。毎月の目標を考え、学童クラブ全体に共有した。自分たちで話し合い、発言し、意見をまとめる経験をする。毎月の目標を考え、学童クラブ全体に共有することができた。</li> <li>・年度末に、次年度中心になる2年生を集めて、次年度の目標などを考えさせた。生活への意識を対峙することができた。</li> <li>・大きな舞台での発表に向けて、せりふの練習や歌の練習を行った。</li> <li>・あそびを企画し、進行するまでをみんなあそび実行委員会が中心になって進めることができた。</li> <li>・少ない人数で交流を図る。ノンズ主催の運動会も実施。</li> <li>・いろいろな遊びに触れる機会になった。大きな舞台でのステージ発表、他館との交流など、自館だけではできない体験をすることができ、参加した児童にとっては貴重な機会となった。</li> <li>・上賀茂神社にきりえ作品を出展した。切り絵が飾られる喜びなどを共有することができた。アートプロジェクトで出展した作品は、かみが美術館で展示した。</li> <li>・かみが美術館の展覧に向けて、スノードーム作りに取り組んだ。ひとりひとりが工夫して作品を作ることができた。</li> <li>・夏休みに、うちわ作りに取り組んだ。季節の工作として、ひとりひとりが楽しみながらうちわを作ることができた。</li> <li>・クリスマスの時期に、クリスマス工作としてツリーづくりをした。楽しみながら工作に取り組むことができた。</li> <li>・年末に大掃除を行った。普段はそうじできないところまで掃除することができた。</li> <li>・不審者対応についてスクールサポーターの方に教えてもらうことができ、防犯意識が高まった。</li> <li>・クリスマス会、年度末ハッピーパーティーなど、子どもたちが自分たちでイベントを企画し、みんなで楽しむことができた。</li> <li>・次年度入ってくる1年生のためのプラ板づくり、自分たち用のプラ板づくりをすることができた。</li> <li>・12月と3月に、おたのしみ会をすることができた。子どもたちが自分たちを中心になってイベントを企画し実現することができ、大変貴重な機会になった。</li> </ul>
子育て支援機能	子育てに必要な情報の提供と交換  子育ての仲間づくり   子育てを支えるネットワーク形成	保育懇談会 個人懇談 夏休み説明会 学童クラブ入会説明会  学童だよりの発行や行事のお知らせ  学校及び関係機関との連携 障害のある児童への統合育成 個別相談	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年4回開催し、子どもたちの様子を写真などで伝えつつ、保護者の抱える悩みや疑問を話し合う機会を持った。</li> <li>・保護者同士、職員との関係を深める機会となった。少人数の中で、ゆくり話し合う機会となった。参加を増やす方法も探していきたい。</li> <li>・新入会生の保護者と気になることがあるご家庭を対象に個人懇談を2週間にわたって行う。家庭の様子とは異なる学童での様子などを共有して、保護者と職員との協力関係づくりの機会となる。</li> <li>・夏休み前に、夏休みの過ごし方について保育懇談会を開き、夏休みの生活の様子や気をつけたいことなどを家庭と共有することができた。</li> <li>・学童クラブに入会されるご家庭を対象に、学童クラブでの生活の様子をお伝えし、見通しを持ってもらうことができた。学童クラブでの生活において、気をつけておきたい点などを共有する機会となった。</li> <li>・毎月のお便りを紙面で発行することを通じて、予定の確認、学童での様子を伝えることが出来た。また玄関には、子ども達の様子を写真やイラストで伝える壁面を作成した。</li> <li>・行事前には、参加確認書を配布し、ご家庭のご都合を把握した。行事によっては、保護者の参加も募った。提出率はおおむね良い。</li> <li>・お帰りの会などで、連絡帳にお手紙が入っていることを伝えて、子ども達に保護者の意識づけにつながる発信を促した。</li> <li>・特例預かりにあたり、学校と連携を取った。</li> <li>・気になる児童については、学校の担任と話し合う機会をもち、学童での様子を意見交換し、対応を考えた。</li> <li>・3月の休校措置や町別集会上校のときなど、児童出欠名簿をやりとりして連携して対応した。</li> <li>・基本的援助について介助者との共通理解をはかり、学童でのより良い過ごし方を探った。職員による個別対応も多く行った。</li> <li>・随時、保護者の困りごとや意見に耳を傾けるようにした。時間をとってひとりひとりの保護者の相談をできる限り聞けるようにした。</li> </ul>

(令和5)年度 学童クラブ事業年間活動報告書

上賀茂児童館

行事名	実施回数	学童クラブ児童						登録外児童		ボランティア			その他	合計	内 容	
		1年	2年	3年	4年	5年	6年	1~3年	4~6年	中高生	大学生	大人				
(1)生活援助機能 机の出し方指導 挨拶の励行 おやつ提供 QRカード入室指導(出欠確認) 衛生管理 手洗い・うがいの励行 集団下校指導 安全週間	随時 随時 随時 随時 随時 5 32														120 712	子どもたちが児童館で過ごすために必要な生活技術(机出し)を身につける。 ・「ただいま」や「さようなら」、「いただきます」「ごちそうさま」など基本の挨拶を呼びかけた。 ・おやつを準備し、子どもたちが日々のおやつを楽しんで食べられるように工夫した。 ・QRカードを使って、日々出欠確認を行った。 ・登館時や外から室内に入ってきた時、昼食・おやつ前など、手洗い・うがいの徹底を図った。 ・安全に気をつけて集団帰りができるように、おかえりの会などで日々、安全について呼びかけた。 ・月に1度安全見守り週間を設定し、子どもたちが安全に帰れるように声掛けを行った。
(2)子ども育成機能 お誕生会 3年生会議 1年生切り絵指導 ブロックやんちゃにむけての歌練習 みんなあそび ブロックやんちゃ 上賀茂神社アートプロジェクト参加 スノードーム作り うちわ工作 クリスマス工作 大掃除 お楽しみ会実行委員会 2年生会議 プラ板作り お楽しみ会	71 10 7 1 4 1 1 9 5 5 1 2 1 6 1	1239 1047 33 41 66 7 5 29 7 30 5 2 1 38 37	1047 579 2 37 58 4 4 28 8 28 3 9 3 25 34 27	579 139 1 19 26 2 3 16 7 13 2 3 19 19 16	126 168 1 8 6 1 1 7 8 6 2 4 4 2 1 4									3159 139 36 107 165 16 15 84 15 79 11 20 25 97 85	おかえりの会で、すきなもののクイズをおこないお祝いのカードを渡した。 毎月の目標を話し合った決めたり、みんなあそびについて話し合ったりした。 1年生向けにカッターの使い方、きりえの仕方を指導した。 ブロックやんちゃのステージ発表に向けて歌の練習などを行った。 みんなあそび実行委員会が決めたみんなあそびを学童全員で行った。 ブロックやんちゃまつりに、上賀茂学童クラブとして参加した。 上賀茂神社アートプロジェクトに、子どもたちの作った大型切り絵作品を出展した。 かみかみ美術館のために、スノードームを作り、展示した。 夏休み工作、季節の工作として、うちわづくりに取り組んだ。 季節の工作として、クリスマス工作でツリーづくりに取り組んだ。 年末に、児童館内の清掃活動に取り組んだ。 おたのしみ会を企画・運営するための委員会を発足し、行事のための会議を行った。 年度末に、来年度の目標を決めたり、3年生としてがんばりたいことなどについて話し合った。 新入会の1年生のためにプラ板作りに取り組んだ。 おたのしみ会実行委員会が企画したおたのしみ会を12月と年度末に行った。	
(3)子育て支援機能 保育懇談会 個人懇談 夏休み説明会 学童クラブ入会説明会 個別相談 学童クラブだよりの発行	3 41 2 2 随時 13	1 1										20 41	2 7 30 6	24 41 9 30 6	保護者の方との話し合いの機会を持ち、子どもについての情報を共有した。 保護者との個別の相談の機会を持ち、子どもについての困りごとなどを共有した。 夏休みの生活についての説明会を行った。 学童クラブの目標やねらい、1日の流れなどについて説明した。 家庭での困りごとなど、子どもについての相談を随時行った。 毎月行事予定や子どもの様子を紙面で伝えた。年度末には、年度末特集号を発行した。	

\*注1 行事名は、(1)生活援助機能 (2)子ども育成機能 (3)子育て支援機能に分類して記入すること  
\*注2 2クラス以上の館所で、クラスごとで異なる取組・行事を実施した場合は、行事名と併せて、クラス名を記入すること